

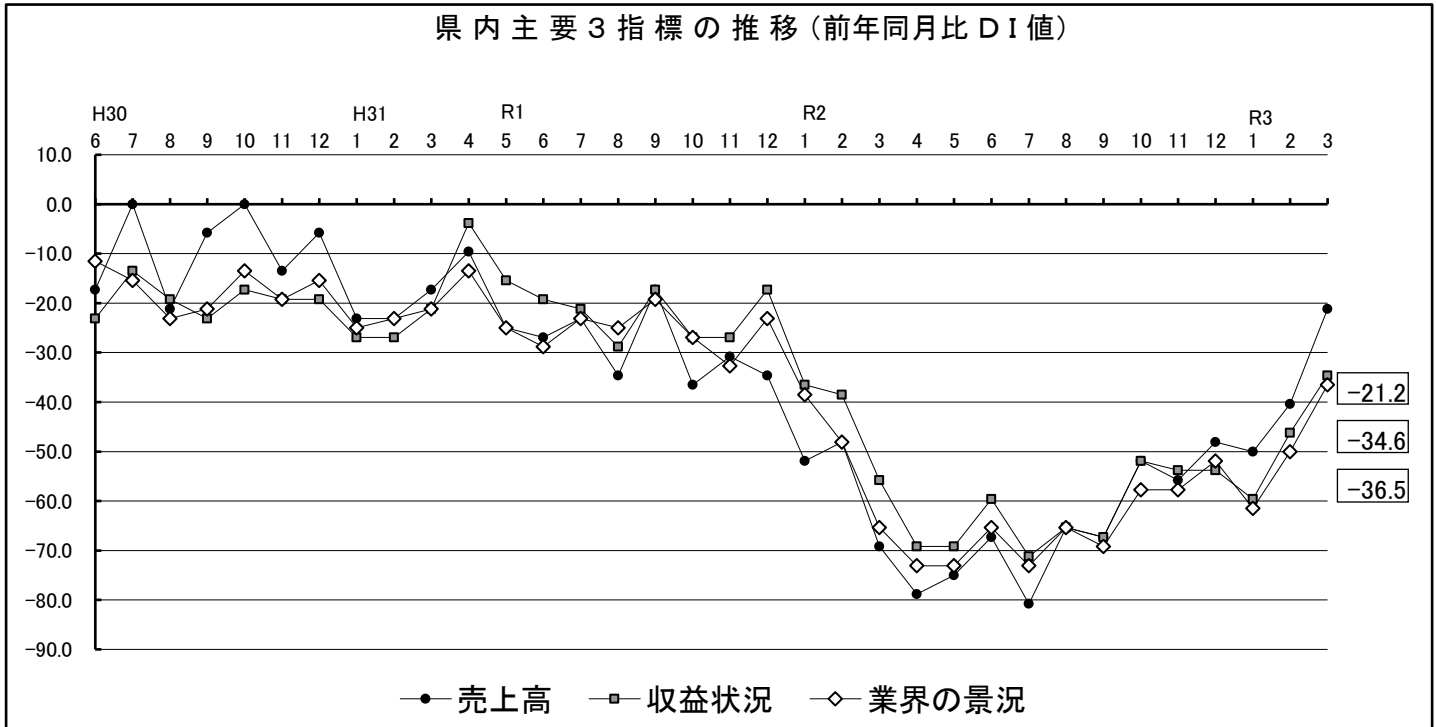
# 中小企業団体情報連絡員報告結果(令和3年3月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標全てが上昇。先月に続いて回復傾向にあるが、先行きの見通しは依然として厳しい。
- 製造業で「印刷」「繊維・同製品」、非製造業で「サービス業」「運輸業」等が特に厳しい状況。
- 「変異株」の拡大や「まん延防止等重点措置」の適用など、第4波への警戒感が強まりつつある。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-21.2	19.2	-29.8	21.6
収益状況	-34.6	11.6	-38.5	13.0
業界の景況	-36.5	13.5	-41.5	11.9

### 売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より19.2ポイント上昇し、-21.2ポイントとなった。全国においては、前月より21.6ポイント上昇し、-29.8ポイントとなった。

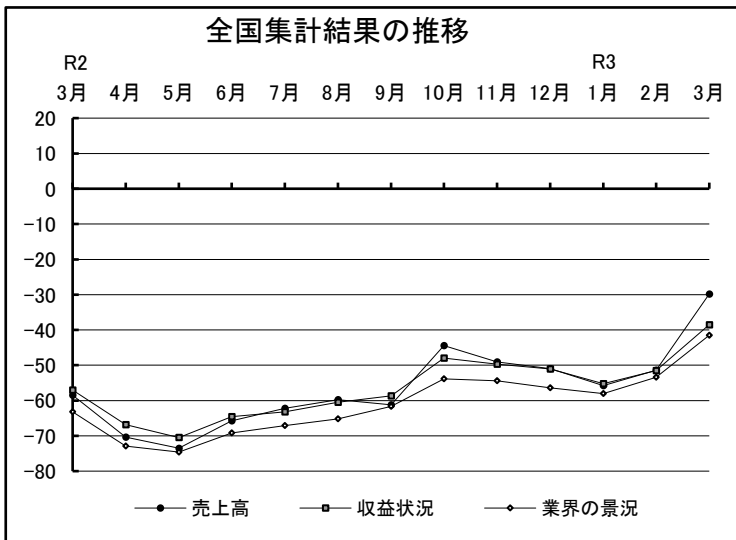
### 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より11.6ポイント上昇し、-34.6ポイントとなった。全国においては、前月より13.0ポイント上昇し、-38.5ポイントとなった。

### 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より13.5ポイント上昇し、-36.5ポイントとなった。全国においては、前月より11.9ポイント上昇し、-41.5ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

3月の前年同月比DI値は、前月と比べ9指標中8指標が上昇、1指標が下降した。主要3指標は「売上高」が19.2ポイント上昇、「収益状況」が11.6ポイント上昇、「業界の景況」が13.5ポイント上昇となった。「売上高」は令和元年9月の数値と同レベルに回復し、「収益状況」「業界の景況」は、令和2年2月の数値を上回った。

業種別・指標別にみると、図表1のとおり、製造業・非製造業共に、主要3指標全ての上昇が見られた。しかし、「印刷」では主要3指標が全て前月に続き-100ポイントとなり、「繊維・同製品」は「収益状況」が-75ポイント、「鉄鋼・金属」は主要3指標がすべて-50ポイントと厳しい数値を示している。非製造業全体では、主要3指標が昨月から連続して上昇に転じたが、「サービス業」「建設業」「運輸業」等では特に厳しいマイナス状態が続いている。

2月の緊急事態宣言解除後、県内の感染状況は一定水準に抑えられており、また前年比での年度末需要増への期待もあってか3月は更に改善の動きがみられた。しかし、「変異株」とみられる感染者が増加していることや、一部の都市で「まん延防止等重点措置」の適用が検討されるなど、第4波に対する警戒感が強まりつつあり、先行きの見通しは依然として厳しいとの見方が強い。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-50.0	-75.0	-25.0	-50.0	-75.0	-75.0	-25.0	-25.0	-50.0
木材・木製品	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0
印刷	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0
窯業・土石	25.0	25.0	25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-75.0	-25.0	-50.0
一般機器	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	-25.0
製造業	-12.0	-8.0	0.0	-16.0	-32.0	-16.0	-20.0	-16.0	-32.0
卸売業	0.0	-33.3	0.0	33.3	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-28.6	-14.3	0.0	-14.3	-28.6	-28.6		0.0	-14.3
サービス業	-16.7		-16.7	-33.3	-83.3	-33.3		0.0	-66.7
建設業	-60.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		-20.0	-40.0
運輸業	-25.0		-25.0	0.0	-25.0	-25.0		0.0	-75.0
その他	-50.0		0.0	0.0	-50.0	-50.0		0.0	-50.0
非製造業	-29.6	-20.0	-7.4	-7.4	-37.0	-22.2		-3.7	-40.7
全体	-21.2	-11.4	-3.8	-11.5	-34.6	-19.2	-20.0	-9.6	-36.5

図表2 【指標別DI値の推移】

	2年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年 1月	2月	3月	前月比
売上高	-69.2	-78.8	-75.0	-67.3	-80.8	-65.4	-67.3	-51.9	-55.8	-48.1	-50.0	-40.4	-21.2	19.2
在庫数量	-5.7	-22.9	-5.7	-22.9	-17.1	-17.1	-20.0	-22.9	-22.9	-25.7	-14.3	-8.6	-11.4	-2.8
販売価格	-11.5	-7.7	-15.4	-13.5	-7.7	-7.7	-5.8	-7.7	-11.5	-7.7	-13.5	-9.6	-3.8	5.8
取引条件	-15.4	-23.1	-26.9	-19.2	-15.4	-21.2	-23.1	-21.2	-19.2	-19.2	-15.4	-17.3	-11.5	5.8
収益状況	-55.8	-69.2	-69.2	-59.6	-71.2	-65.4	-67.3	-51.9	-53.8	-53.8	-59.6	-46.2	-34.6	11.6
資金繰り	-38.5	-53.8	-55.8	-51.9	-51.9	-48.1	-42.3	-28.8	-26.9	-26.9	-26.9	-26.9	-19.2	7.7
設備操業度	-28.0	-64.0	-72.0	-56.0	-68.0	-56.0	-52.0	-40.0	-48.0	-32.0	-36.0	-24.0	-20.0	4.0
雇用人員	-3.8	-11.5	-11.5	-19.2	-15.4	-9.6	-15.4	-9.6	-11.5	-11.5	-13.5	-11.5	-9.6	1.9
業界の景況	-65.4	-73.1	-73.1	-65.4	-73.1	-65.4	-69.2	-57.7	-57.7	-51.9	-61.5	-50.0	-36.5	13.5

## 特記事項

## 情報連絡員報告（令和3年3月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	全体的には、売上げは昨年からは増加しているが引き続き観光地等は厳しい。また、原材料の値上げが続きこれからの販売価格、収益に不安がある。
あん類製造業	3月はお彼岸があり売上が伸びる月だが昨年度に比べるとずいぶん商品の動きが良かった様だ。特に取引先の小さな店舗程忙しいようであった。
縫製業	昨年より続いていた防護服が3月中で終了し、アパレル関係の仕事は大幅に減少して従来の50%以下になっている。先行改善の見通しは立たず厳しい状況が続いている。
染色整理業	コロナ関係、まだ治らず。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	コロナウィルスの感染拡大による景気の冷え込みが始まってから約1年を迎え昨年同時期と比べれば、多少の動きはあった。ただ一昨年同時期と比べると売上、収益、稼働状況は悪く、相変わらず苦しい状況にある。オリンピックの開催問題、ワクチン接種時期、コロナ第4波、第5波等、不安要素は多く、依然見通しは明るくないと感じている。
一般製材業	材木需要が伸びた為、材木価格が上昇している。当該理由により業界全体として在庫が薄い状態である。
家具・建具製造業	受注は増加に転じているが、一過性の可能性も否定できない。原材料が高騰しており、納入価格に転嫁する事が困難につき、収益が悪化する懸念がある。
建具製造業	コロナの影響は続いているが、年度末は多少なりとも受注が増加、ただし昨年度末には届かなかった。
印刷業	コロナ禍に県内印刷企業も大変厳しい経営を強いられ、これ以上景気低迷が長引けば、さらなる悪化が懸念される。当組合員において経費削減等を理由に3月末で3社脱退した。
石灰製造業	鉄鋼向けは、徐々にではあるが出荷増となってきた。 肥料関係は、若干減少したが、鳥インフルエンザの影響で、消石灰の出荷が増加し昨年並みとなった。建材関係は、徐々に出荷が増えている。 全体では、微量ではあるが増加傾向であった。
金属製品製造業	家電（日立 GLS）期末生産調整のため減産
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車部品関連・・・低下（主にコロナ禍による売上低下、人件費増加、人手不足）</li> <li>・機械設備関連・・・低下（主にコロナ禍による売上低下、人件費増加、人手不足）</li> <li>・プレス金型関連・・・低下（主にコロナ禍による売上低下、人件費増加、人手不足）</li> </ul>
一般機械器具製造業	前年同月と比較し、今月も売上高等の減少傾向は継続、収益悪化懸念も継続中。操業度の低下は回避傾向であるが今後の見通しについては回復傾向の企業と悪化懸念企業とがほぼ同数といった状況。前回の報告内容と大きく変化はないが、組合員企業の努力により、コロナの長期にわたる影響を最小限のとどめようとする姿勢が感じ取れ、今後の動向に注視しつつ各組合員企業の適切な対応を期待し、見守りたいところである。
一般機械器具製造業	先月同様、売上高は前年並みの水準に回復してきたものの、コロナ前（一昨年）までは戻らず収益状況は厳しさが増している。
一般機械器具製造業	自動車業界・建機業界共に緩やかながら回復傾向にあると思う。建設業界・介護業界ともに人手不足が深刻化しつつある状況になって来た。現在のような状況が続いて新規の実習生の入国が停滞しますと景気を下押しすることになると思われ、今からでも遅くはないので他国の成功例に倣って早急の改善を望む。
各種商品卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当団地組合では、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けており、全体として売上高減少、業況悪化と厳しい状況は続いている。</li> <li>・会館会議室の利用状況は徐々に回復している。</li> </ul>
食肉小売業	アメリカ牛肉の政府ガードが入り、関税が25.6%から38.6%へ上がった。オーストラリア牛肉や輸入豚肉も値上がりしている。国産牛肉の値段も元に戻っている。売れ行きは少しずつ好転して来ているが、収益が上がっていない。
中古自動車小売業	昨年は、コロナの影響が出はじめた頃で、昨年よりは良いが、2・3月と動きが悪くなっている感じ。

各種商品小売業	新型コロナウイルス感染に伴ない3月期も全体的に低迷している。特に飲食業の落込みは前月よりさらに悪化している。また、個人消費の回復も同じで、低迷し長期化の見通しが大きい。特に、街にとって大切な高齢者の外出が少なく消費に影響を与えている。
各種商品小売業	前年同月との比較であれば急激に回復しているように見えるが、一昨年対比だと10～20%程度ほぼすべてのテナントが売上を落としている。今年度はこの水準になると仮定して対策を講じていく。
花・植木小売業	3月は、桃の節句、卒業式、結婚式、お彼岸といった一年で一番お花が使われることが多い時期となる。昨年はそれら行事やイベントの中止、縮小等により売上は大きく減少したが徐々に回復傾向にあり、店頭では花が良く売れた。市況は前年比で1割程の入荷減、単価は3割から4割の大幅な単価高となり仕入は厳しかった。
理容業	感染症の影響を大きく受けて、来客者数が大きく減少している店舗が増えている。そのため、やむを得ず廃業を選択する高齢組合員も増加している。理容業界全体で、来客者数は減少傾向にあるので、大きな問題点として対応を考慮して行かなければと考えている。
自動車整備業	繁忙期となる3月であったが、一台当り単価の減少が目立ち、売上高は減少した。
旅館・ホテル	宿泊 首都圏も含め緊急事態宣言は解除となったが、市内全域のホテルの稼働率は50%にも届かない状況だ。また、すでに第4波も懸念されており先行き不透明な状態である。 宴会 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言により100%ダウン。 飲食店 緊急事態宣言は解除されましたが、飲食店利用はまだ非常に厳しい状況です。第4波と変異株も懸念されており先行きが全く見通せない。
ビルメンテナンス業	宅配関連の物流業務の収益減少により減益となっている。ビルメン関連はスポット作業や感染症対策の特別清掃の受注が増えている。
給食センター	売上高は、新規事業である惣菜の製造販売により、前年同月より増加したが、他の分野が新型コロナウイルスの影響で、依然と昨年度より減少である。雇用の確保、事業の継続をするためのキャッシュフローは、国・県の制度融資でなんとかできていたが、新型コロナウイルスが終息せず、収益・資金とも悪化し始めている。
内装工事業	長期に渡るコロナ禍の影響により組合員の多くが売り上げ業績において対前年比2割程落ち込んでいる。資金繰り等に窮している組合員は散見されていない。
一般貨物自動車運送業	・ドライバー不足が深刻である。荷動きが多少良くなってきたが、人手は不足している。 ・同業者の値下げが止まらない。
貨物軽自動車運送業	年度末ではあったが仕事量は例年ほどではなかった。単身者の引越しも動きは鈍く、年度末に多く注文の入る自転車や家具・家電の配達も伸びなかった。コロナ禍の影響で仕事量が減っていた荷主様も徐々にではあるが回復しつつある中で、4月から新年度の動きはより厳しくなる見通しである。
一般乗用旅客自動車運送業	2月13日夜発生、福島・宮城東日本大震災余震による損害調査（鑑定人案内）の依頼があり2月後半から3月にかけての売上は、少し増加の現況です。しかし、ここに来てコロナ感染者・変異ウイルス感染者の微増に伴い、一般のお客様の戻り具合はまだまだの感がある。
大谷石採石業	まだまだ先を見透せない状況が続いている。